

平成29年11月28日  
東北総合通信局

## 「災害医療救護通信エキスパート研修」の開催について

－ 医療・救護活動等の非常用通信システムの適正な利用人材育成に向けて －

東北管内における「災害医療救護通信エキスパート研修」を以下の日程で開催する予定ですので、お知らせいたします。

総務省では、平成27年12月から開催された「大規模災害時の非常用通信手段の在り方に関する研究会」の報告書を受け、医療関係者、各種通信事業者及び学識経験者によって平成29年9月29日に設立された「災害医療救護通信エキスパート育成協議会（会長：相田東京大学工学系研究科教授）」を推進母体として、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる知識及び技能を習得させるための研修・訓練を実施しています（実施計画は別紙のとおり。）。

また、以下の研修において、東北総合通信局が実施する災害時の支援等について当局より紹介する予定です。

### 岩手会場

日時：平成29年12月10日（日）11時30分～12時30分、14時～15時

場所：アイーナいわて県民情報交流センター 会議室501等（盛岡市盛岡駅西通1-7-1）

※取材を希望される方は、氏名、社名、連絡先を12月4日（月）17時までに、以下の問合せ先（協議会事務局：公益財団法人日本無線協会）に、Eメールで登録願います。

なお、東北管内において、今後、以下の日程による研修・訓練も実施する予定です。

### 宮城会場

日時：平成30年2月10日（土）・11日（日）

場所：東北大学防災科学国際研究所（仙台市青葉区荒巻字青葉468-1）

### 【本件のお問合せ先】

（総務本省担当）国際戦略局宇宙通信政策課 担当者：中山、渡辺  
TEL：03-5253-5769 E-mail：dmr-ict-literacy@ml.soumu.go.jp

（研修・訓練の取材及び実施計画について）「災害医療救護通信エキスパート育成協議会」事務局  
公益財団法人日本無線協会 担当者：川浪  
TEL：03-3533-5686 E-mail：kikaku1@nichimu.or.jp  
（研修当日の連絡先）070-1002-9721

### 【参考】「大規模災害時の非常用通信手段の在り方に関する研究会」

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/kenkyu/daikibosaigai\\_hijyou-tsushin/index.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/daikibosaigai_hijyou-tsushin/index.html)

連絡先：東北総合通信局  
（渡辺総括調整官）  
TEL 022-221-4333



## 平成29年度「通信エキスパート研修」実施計画

### 1 災害医療救護通信エキスパート育成事業とは

災害医療救護通信エキスパート育成事業に係る研修・訓練等（以下、「通信エキスパート研修」という。）は、首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害時において、国民の生命・身体を守るために行われる医療・救護活動を円滑に行うために必要とされる情報伝達の手段として使用される衛星携帯電話及び衛星データ通信をはじめとする各種無線機器等を適正かつ有効に取り扱うことができる人材を育成し、災害医療・救護活動等の維持を図り、被災者の医療活動等の支援に寄与することを目的とする総務省「医療・救護活動等の非常用通信システムの適正な利用人材育成事業」として、平成29年度から「災害医療救護通信エキスパート育成協議会（会長：相田仁東京大学工学系研究科教授）」が実施するものです。

### 2 レベル別の研修・訓練等の日程

通信エキスパート研修は、上級レベル、標準レベル及び基礎レベルの3区分とし、上級レベル及び標準レベル研修の修了者には認定証及び記章を交付します。また、基礎レベル研修の修了者には、修了証を交付します。

それぞれの日程及び会場は次のとおりです。なお、当該研修の受講料は無料です。

#### (1) 上級レベル

実施日	会場	募集数
平成29年11月 3日～ 4日	(東京都江東区)東京臨海広域防災公園	20名
平成30年 1月20日～21日	(神戸市)神戸国際会議場	20名
平成30年 2月10日～11日	(仙台市)東北大学防災科学国際研究所	20名

(目標) ↓

衛星データ通信機器等の設営・メンテナンス及び操作の指導ができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる高度な知識及び技能(標準レベルや基礎レベルでの指導が可能となる程度)を習得する。

#### (2) 標準レベル

実施日	会場	募集数
平成29年11月 4日	(江東区)東京臨海広域防災公園	30名
平成29年12月 2日～ 3日	(津市)三重県総合文化センター	30名
平成29年12月10日	(盛岡市)アイーナいわて県民情報交流センター	30名
平成29年12月16日～17日	(静岡市)静岡コンベンションアーツセンター・グランシップ	30名
平成30年 1月14日	(高知市)CHRESサンピアセリーズ	30名
平成30年 1月27日～28日	(北九州市)産業医科大学	30名
平成30年 2月17日～18日	(日向市)日向商工会議所	30名
平成30年 3月 3日～ 4日	(和歌山市)和歌山ビック愛	30名

(目標) ↓

衛星携帯電話等の機器を適正に操作・使用できるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる知識及び技能(基礎レベルでの指導が可能となる程度)を習得する。

### (3) 基礎レベル

実施日	会場	募集数
平成29年11月 3日～ 4日	(江東区)東京臨海広域防災公園	120名
平成29年12月 2日～ 3日	(津市)三重県総合文化センター	120名
平成29年12月10日	(盛岡市)アイーナいわて県民情報交流センター	120名
平成29年12月16日～17日	(静岡市)静岡コンベンションアーツセンター・グランシップ	120名
平成30年 1月13日～14日	(高知市)CHRESサンピアセリーズ	120名
平成30年 1月20日～21日	(神戸市)神戸国際会議場	120名
平成30年 1月27日～28日	(北九州市)産業医科大学	120名
平成30年 2月10日～11日	(仙台市)東北大学災害科学国際研究所	120名
平成30年 2月17日～18日	(日向市)日向商工会議所	120名
平成30年 3月 3日～ 4日	(和歌山市)和歌山ビック愛	120名

(目標) ↓

衛星携帯電話等と携帯電話等との違いを理解することができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる基礎的な知識を習得する。

## 3 受講科目、受講時間、受講資格

### (1) 受講科目及び受講時間

受講区分	種別及び受講時間		受講内容
上級レベル	座学	1 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常災害時の通信確保の必要性・重要性</li> <li>○災害医療・救護活動における非常用通信手段に関するガイドライン</li> <li>○非常用通信手段の種類と特徴、メリット・デメリット</li> <li>○電波法制、電波システムの適正利用</li> <li>○機器の管理方法等</li> </ul>
	実技	5 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衛星データ通信(可搬型 VSAT 等)の設置・操作、PC ネット接続(Wi-Fi の設定を含む)及びアプリ操作(ログインまで)</li> <li>○衛星携帯電話、デジタル簡易無線及びデジタル MCA 無線の設定、通信操作の確認</li> </ul>
	能力認定試験	30 分程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、熟度を試験によって確認(認定)
標準レベル	座学	1 時間	○上級レベルの内容についての基本的知識
	実技	3 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衛星携帯電話の設定・通信操作</li> <li>○衛星データ通信(可搬型 VSAT 等)の操作、ネット接続、及びアプリ操作(ログインまで)</li> <li>○デジタル簡易無線及びデジタル MCA 無線の設定、通信操作の確認</li> </ul>
	能力認定試験	30 分程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、熟度を試験によって確認(認定)
基礎レベル	体験型	2 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上級レベル又は標準レベルの実技で使用する無線通信機器等の展示、説明、相談</li> <li>○無線通信機器の通信操作等の体験</li> </ul>

\*受講時間は目安であり、研修状況等に応じて若干延長することがある。

\*上級及び標準レベルの実技に関する能力認定試験は、実技研修中に実施する。

## (2) 受講資格

受講区分	受講資格
上級レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○DMAT、JMAT、DPAT、日赤救護班等で、災害医療に1年以上の業務経歴を有する者</li> <li>○日本集団災害医学会認定災害医療ロジスティクス要員(仮称)として認定された者</li> <li>○地方公共団体(保健所を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者</li> <li>○医療関係者等であって、上記と同等の知識を有する者</li> <li>○第二級陸上特殊無線技士国家資格を有する者、又は第三級陸上特殊無線技士国家資格を有し、1年以上の業務経歴を有する者</li> </ul>
標準レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療関係者等であって1年以上の業務経歴を有する者、又は同等の知識を有する者</li> <li>○地方公共団体(保健所を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者</li> <li>○第三級陸上特殊無線技士国家資格を有する者</li> </ul>
基礎レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機関等で災害医療・救護活動に関係する者、又は地方公共団体(保健所を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者</li> </ul>

## 4 岩手会場の場所・時間割

### (1) 研修会場

いわて県民情報交流センター(アイーナ) 会議室501等  
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

### (2) 時間割

#### (ア) 標準レベル

実施日	時間	内容
12月10日(日)	09:30~10:00	オリエンテーション
	10:00~11:00	座学
	11:00~15:30	実技(12:30~13:30休憩)
	15:30~16:30	座学に関する能力認定試験/終了式

\*実技に関する能力認定試験は、実技研修中に実施する。

#### (イ) 基礎レベル

実施日	時間	内容
12月10日(日)	午前 10:00~12:00	通信操作等の説明、展示・相談・体験
	午後 13:30~15:30	通信操作等の説明、展示・相談・体験

## 5 その他

〔お問い合わせ先〕

災害医療救護通信エキスパート育成協議会 事務局

公益財団法人日本無線協会 企画室

TEL: 03-3533-5686 E-mail: [kikaku1@nichimu.or.jp](mailto:kikaku1@nichimu.or.jp)

〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目3番3号